

斑鳩町の維持及び向上すべき歴史的風致

1400年を超える歴史をもつ斑鳩町には、法隆寺をはじめとする歴史的建造物や歴史的な町並みが残るとともに、法隆寺を舞台に行なわれる、西円堂の「鬼追式」や聖霊院の「お会式」などの仏教行事は、地域の人々が支え、これに参加することで引き継がれてきた。また、神社や集落の町並みを舞台に、五穀豊穡の祈りなど秋祭りに代表される伝統的祭り、集落の暮らしの安全や健康を祈る講・座などが民間信仰として引き継がれ、地域固有の歴史的風致を形成している。

1. 受け継がれてきた仏教信仰に関連する歴史的風致

①西円堂の「鬼追式」にみる歴史的風致

毎年2月3日に、法隆寺の西円堂(さいえんどう)では約750年の歴史を持つ「鬼追式」が行われる。丑寅(北東・鬼門)の方向にあたる法起寺北方の岡本集落の人々が三鬼と毘沙門天を勤め、真暗な闇の中、お堂のまわりを練り歩いた鬼達は松明をカ一杯に振り回して、群衆に向かって投げ入れる。大きな歓声上がり、火の粉が天に舞い、斑鳩の里は春の幕開けを迎える。



「鬼追式」の三鬼と毘沙門天の装束



壇上の鬼の所作

②聖霊院の「お会式」にみる歴史的風致

法隆寺の聖霊院(しょうりょういん)で行われる「お会式(えしき)」は、聖徳太子が亡くなられた命日に毎年行われる御忌法要である。聖霊院内部には多くの参拝する人々が集い、はなやかな南都学所の楽奏と僧侶の声明が響くなか、聖徳太子を讃える法要が営まれる。境内には色々な露店や屋台が立ち並び、いつもの厳肅な境内とは一変した華やかさと賑わいに包まれる。「お会式」は、古くから斑鳩のまちをあげて参加したハレの日の楽しみの一つでもある。



お会式



聖霊会

③西室の「夏安居」と「法隆寺夏季大学」にみる歴史的風致

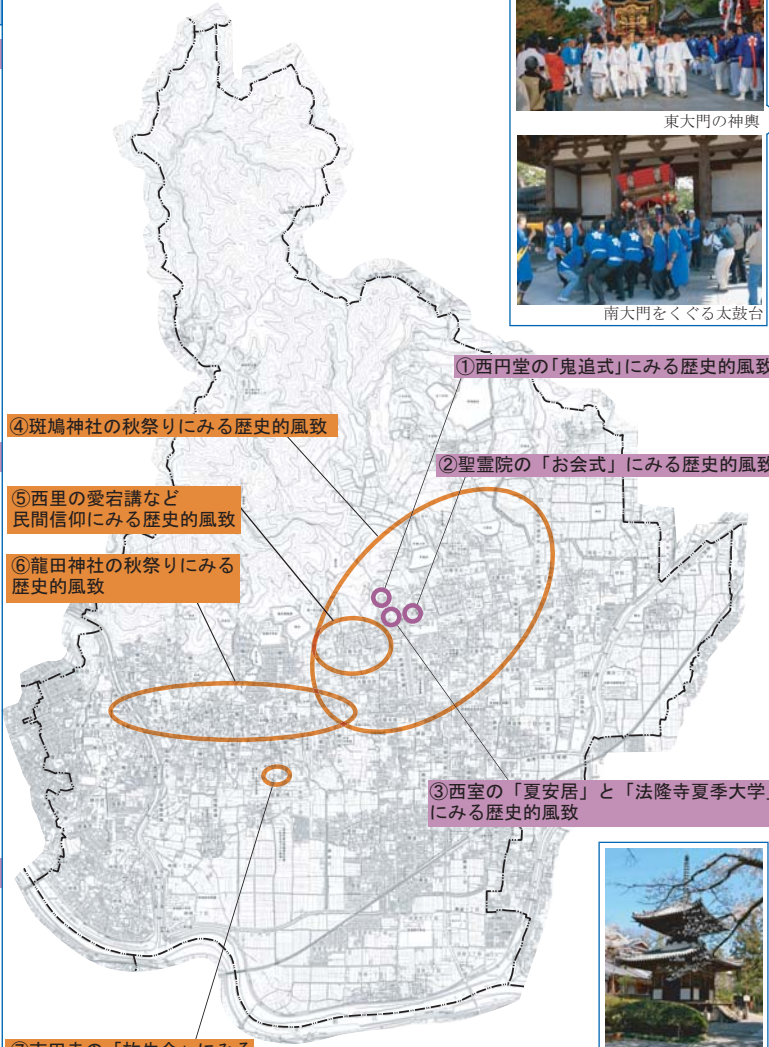
「夏安居(げあんご)」の期間中の90日間、毎日連続で法隆寺の僧侶により聖徳太子の説かれた「三経義疏」の講義が行われる西室(にしむろ)は、聖徳太子の教えを説き、その教えを広めてきた道場である。太子の教えを学ぶ使命を今日に伝えている「法隆寺夏季大学」は、人々に開かれた聖徳太子の「学びの場」として開催されており、会場を埋め尽くす参加者達は遠く古に想いを馳せている。



西室



法隆寺夏季大学



④斑鳩神社の秋祭りにみる歴史的風致

⑤西里の愛宕講など民間信仰にみる歴史的風致

⑥龍田神社の秋祭りにみる歴史的風致

①西円堂の「鬼追式」にみる歴史的風致

②聖霊院の「お会式」にみる歴史的風致

③西室の「夏安居」と「法隆寺夏季大学」にみる歴史的風致

⑦吉田寺の「放生会」にみる歴史的風致



受け継がれてきた仏教信仰に関連する歴史的風致

暮らしに息づく歴史と文化に関連する歴史的風致

2. 暮らしに息づく歴史と文化に関連する歴史的風致

④斑鳩神社の秋祭りにみる歴史的風致

東里・西里・三町・五丁町・並松の五集落は、法隆寺の維持管理をはじめ宗教行事や暮らしを支えるとともに、門前町として法隆寺とともに歩んできた。10月の第2土・日に行なわれている「斑鳩神社の秋祭り」は鎮守社である斑鳩神社から氏神が法隆寺の御旅所に渡御し、これを地域の人々が太鼓台・提灯台を掲げて迎える伝統行事である。五集落の人々によって担がれる太鼓台は神輿渡御行列とともに、歴史的建造物が立ち並び家並みを通り過ぎ、法隆寺の南大門をくぐりぬけて境内のお旅所へ向かう。この秋の祭礼が終わると、斑鳩の里は秋一色の気配を漂わせる。



東大門の神輿



南大門をくぐる太鼓台

⑤西里の愛宕講など民間信仰にみる歴史的風致

西里は、法隆寺の西に位置し、歴史的町並みを残しているが、ここは法隆寺出入りの大工たちの居住地であった。法隆寺の維持管理をはじめとする伝統的技術の継承とともに、大工の職業神としての聖徳太子信仰、「春日講」、防火の守護神の愛宕神社へ代参する「愛宕講」など民間信仰による伝統行事が暮らしに溶け込み、今も息づいている。



「奉勸請愛宕山 大権現社」御札



愛宕講のお参り

⑥龍田神社の秋祭りにみる歴史的風致

龍田神社を中心とした奈良街道沿道の龍田集落は、市場、門前町、宿場町として栄え、歴史的町並みが残る。龍田神社の秋祭り(神楓祭)が、10月15日に近い土・日に行われている。北庄地区の春日神社の渡御行列が法螺貝を鳴り響かせて旧街道を龍田神社に向かい、秋の祭礼が始まる。氏子達が担ぐ太鼓台3台の音が祭りを盛り上げて街道筋を練り歩き往時の宿場町としての龍田の賑わいを思わせる。



北庄元宮座



旧街道を巡行する太鼓台

⑦吉田寺の「放生会」にみる歴史的風致

龍田の旧街道の南に位置する小吉田(こよしだ)集落の吉田寺(きちでんじ)では、毎年9月1日に「放生会(ほうじょうえ)」が行われる。「鳩にがし法要」「魚にがし法要」の名でも親しまれている。多宝塔の前では、白ハト100羽が子ども達によって大空へと放たれ、金魚やドジョウなど身近な魚500匹が門前の放生池へと放たれる情景をまのあたりにして、人々は命の尊さを学ぶ。



吉田寺多宝塔



放生会

斑鳩町の重点区域における施策・事業の概要

名称 法隆寺周辺地区
面積 約82.0ha

1. 歴史的建造物の保存・活用

(1) 歴史的風致形成建造物修理・修景事業

歴史的風致形成建造物を指定し、建物調査を行った上で、伝統的様式の復原を基本としてそれぞれの建物の特色に即した修理・修景を行い、活用を図る。



井上家住宅 安田家住宅 辰巳家住宅

(2) 歴史的建造物修景事業

主な歩行者ルートとなるところを中心に、歴史的建造物については外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物の外観や塀・空地等については歴史的町並みに調和するよう修景を行う。

2. 良好な市街地の環境や景観の保全・形成

(3) 道路美化事業

まちあるき観光拠点をめぐる主な歩行者ルートについて、路面舗装の美化を行い、歴史的町並みに合った道に整備する。



整備イメージ

(4) 電柱類景観改善事業

歴史的佇まいが色濃く残る道路を中心に、無電柱化等電柱類の景観改善を行って、歴史的町並みを整え、歩きやすい道づくりをすすめる。



整備イメージ

(5) 小広場整備事業

まちあるき拠点をめぐるルート沿いに、歴史的町並みの中の屋外の休憩と交流の場として、緑豊かな小広場を整備する。



整備イメージ (西里公園の例)

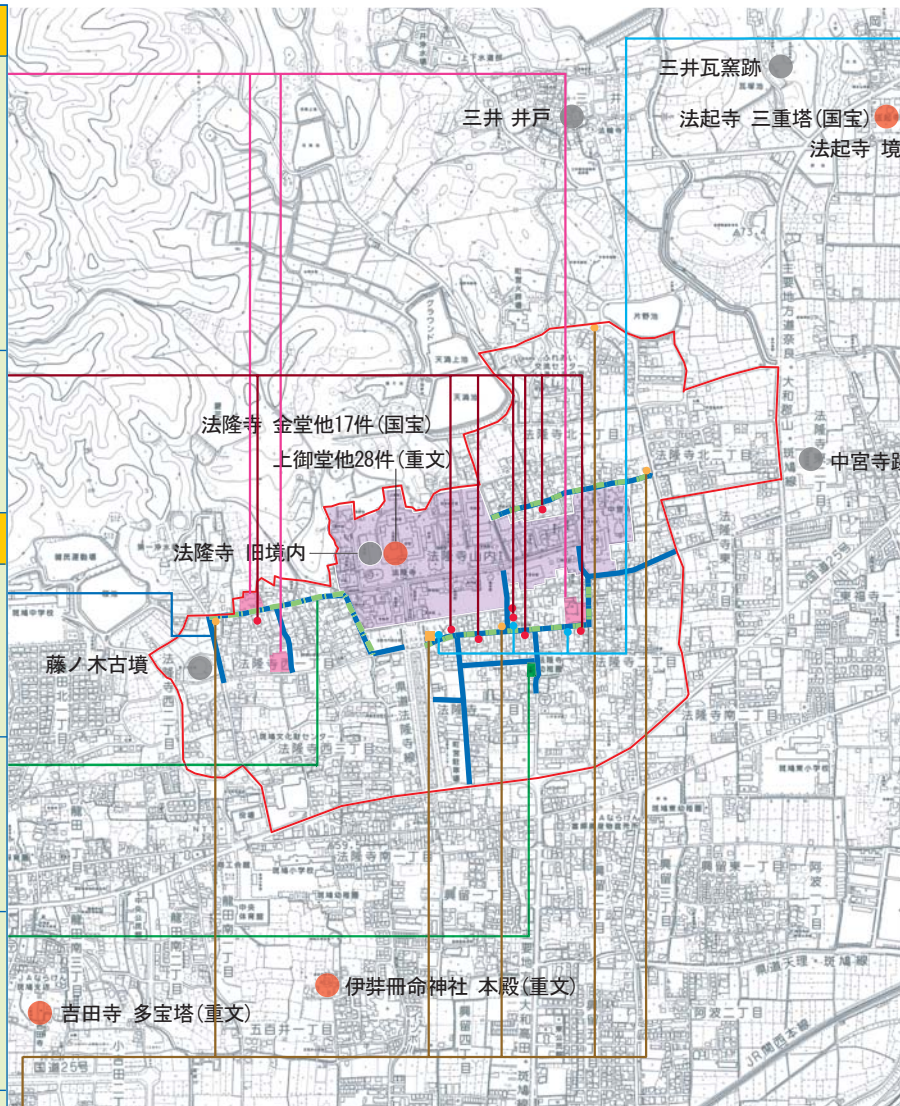
(6) 空家再生促進事業

空家を利用したい人と所有者をつなぎ、その活用に向けて専門家がコーディネートするしくみの構築やまちあるき拠点としての活用モデルに取り組む。

3. まちなか回遊性の向上

(7) 案内板等整備事業

まちあるき観光を誘導するために、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを設置する。



- 1. 歴史的風致形成建造物修理・修景事業
- 2. 歴史的建造物修景事業
- 3. 道路美化事業
- 4. 電柱類景観改善事業
- 5. 小広場整備事業
- 7. 案内板等整備事業
- 8. 夜間景観形成事業
- 法隆寺境内
- 重点区域
- 国宝・重要文化財(建造物)
- 史跡



(8) 夜間景観形成事業

夜間もまちを歩いて楽しめるように、歴史的町並みの雰囲気と調和する街灯を設置し、夜のまちの魅力を高める。

(9) ガイドツアー実施事業

まちの歴史や建物についての専門的な説明や地域住民との交流、伝統行事の体験などが織り込まれたガイドツアーを実施する。

4. 歴史的風致の普及・啓発

(10) 歴史資源データベース作成事業

地域の歴史資源をわかりやすく体系化し、地図情報とも一体にとらえられる歴史資源データベースを作成し、歴史資源を再認識できるようにする。

(11) 文化財防災啓発事業

文化財防火デーを中心に文化財の防災についての情報発信を行うとともに、文化財の防災について学び、体験する機会を設け、地域住民の防災意識を高める。



文化財防火デー

(12) 文化財展示・公開事業

歴史的建造物や歴史的町並みなどをテーマとした展示や町家の公開に取り組み、その魅力を改めて学ぶことで、その価値を再認識できるようにする。

(13) こども歴史講座開催事業

小学生高学年のこどもとその保護者を対象に、町家体験、民家宿泊、大工技術体験など、体験を通じて、まちの歴史を学ぶ講座を実施し、歴史文化や歴史的風致への関心や理解を高める。

(14) 伝統的行事支援事業

町内の伝統行事をきめ細かくリストアップし、調査、記録、情報発信を行うことで、伝統行事の担い手や後継者の確保、民俗芸能の継承や地域の活性化につなげる。

5. 文化財の保存・整備

(15) 町指定文化財候補調査事業

町指定文化財の候補リストを作成し、建造物、古文書、美術工芸、考古学等の各分野について、継続的に調査を進め、町指定文化財の指定を推進する。

(16) 国(県)指定文化財管理費補助金事業

国または県の指定文化財については、防災設備の設置や運用等の経費を奈良県が助成し、町がその申請事務や実施に対して指導・助言を行う。

(17) 重要文化財等保存整備費補助金事業

周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)における個人住宅の建築等の開発行為に伴い、緊急の発掘調査を実施し、埋蔵文化財の適切な保存を図る。